

天竜川駅構内で起きた緊締装置落下・ 越谷レイクタウン駅構内で起きた貨車 のカバーが外れ旅客列車に衝撃した事 について、再発防止に関する申し入れ

本部は、9月3日、交渉をしました。以下、報告します。

- 1、2つの事象とも人命に関わる非常に危険なものであったが、これに至った原因を明らかにされたい。
2. 再発防止に向けての対策、取り組みを明らかにされたい。

回答・1、2項とも別紙参照。

「天竜川駅構内での事象」

会社・原因は、列車走行中に固定ピンが脱出したためと推定される

【ソフト対策】

- (1) 全支社に通達を発信し、積付検査における固定ピンの確認方法の徹底と、緊締装置組み替え後の確認の徹底について指示をした。
- (2) 全国の駅指導担当者を招集し、同事象の対策・指導について議論を行い、積付検査における固定ピンの確認方法の徹底と、緊締装置組み替え後の確認の徹底について再度指示をした。
- (3) 本社・支社駅指導担当者が、東京夕駅の積付検査担当者全員に対し積付検査の作業帯同を行い、積付検査が正しい作業手順で確実にに行われているか確認した。
- (4) 本人に対し、駅管理者による積付検査の作業確認を行い、積付検査が正しい作業手順で確実にに行われていることを確認した。(6/24)
- (5) 夏季輸送安全総点検にて、通達の周知状況および積付検査および緊締装置組み

替え後の確認が正しい手順で行なわれているか確認を行う。

【ハード対策】

(6) 全車両に対して、車体と固定ピンを繋いでいる鎖の中央部分に、金具を取り付け、固定ピン挿入時に金具を車体に取り付けたフックに掛けることにより、固定ピンが抜けまいよう脱出防止を図る。

組合・固定ピンが確実に抜け止め金具に入り、先端は折れていた状態であったが、走行中の振動等により、固定ピンが外向けに90度回転して、抜け止め金具に固定ピンの切り抜けが合致して先端が直線になり、さらに振動等で固定ピンが抜けることはあり得るのか。

会社・あり得る。平成19年4月に東海道線島田駅で今回と同じような事象があった。その時の対策でピンの先折れ対策をした。ただ、先折れ対策をした後も、ピンが抜ける事象は起きている。

組合・今回、S字フックをかける対策をしたが、これで100%抜けまいと言い切れるか。

会社・抜けかかることはあるかもしれないが、完全に抜けることはない。

組合・ということは、緊締装置が「ぶら」状態になることは絶対でないということか。

会社・物理的にはない。

組合・このフック対策は、暫定対策か恒久対策か。

会社・現時点ははっきりと申し上げられないが、すぐにできるハード対策である。将来的には改修したい考えはある。

組合・具体的な案は出ているのか。

会社・まだ出していない。12ftの緊締装置を改修となると、相当な数もあり、またトラックの改修も必要となる。まだ、検討の検討段階である。

組合・ハード対策でS字フックが、振動等で貨車から外れることはないのか。

会社・鉄道総研で振動試験をし、外れることはない結果が出た。

組合・29年、6月～、11月～、列車・実施箇所を決めて、固定ピン脱出対策（S字フック）の試行をしていたが、問題はなかったのか。

会社・無かったと聞いている。

組合・8月1日より、本実施となったが、今回の事象を受けてか。

会社・少なからずともある。

組合・なぜ試行を、当該列車1093レでやらなかったのか。東タでの作業時間の関係か。

会社・貨車運用の関係となる。すべての貨車に施工されていない。

組合・S字フック対策で、作業時間等の問題は出てないのか。

会社・手間はかかると聞いている。積み付け検査において、対策施工済貨車は、見る箇所を変更している。よって、作業時間は変わらまいという想定。現在、貨車

-
- が混在しているので、全ての貨車が施工済となったら、積み付け検査項目を統一する。貨車が混在している期間は、現場が大変になることは理解している。
- 組合・手間がかかるということは、この対策により、列車遅延が発生する恐れがある。現場の声を聞いて、作業時間の見直し等も考慮して頂きたい。
- 会社・了解した。
- 組合・対策の施工計画が、4～5ヶ月程度とあるが、もっと早まらないのか。
- 会社・西日本豪雨の関係で動いていない貨車もあるため、全車両となるとこのぐらいかかってしまう。
- 組合・休車解除をし、現場や運用を見ながら早めることは考えているのか。
- 会社・それも考えとしてある。
- 組合・ハンドブックの項目に積み付け検査が入ったが、フックを掛け忘れた場合は報告事象となるのか。
- 会社・そうなる。
- 組合・積付検査について安全対策として作業を増やしている職場もある。本実施し作業性で問題がある職場の把握とその対応をすること。今後の作業ダイヤの在り方にも改善を求めておく。
- 組合・S字フックが壊れていた場合、応急処置で走行させて良いのか。それとも貨車を運用から外すのか。また、応急処置は本体社員が行わなければならないのか。委託会社に任せてよいのか。委託会社が応急処置を行った場合、本体社員の「OK」が必要なのか。会社として統一してもらいたい。
- 会社・壊れたのを見つけた場合は、応急処置となる。統一については上に伝え、後日回答としたい。
- 組合・今回は、人命に関わる非常に危険な事象であった。会社はこの事象を重く受け止め再発防止に取り組んで頂きたい。
- 会社・真摯に受け止め、再発防止に取り組んでいく。
-

「越谷レイクタウンでの事象」

会社・原因は、走行中に無蓋車の上部を覆っていたカバーが外れたため。

【推定原因】

普段からハズレ止めフックを使用しない状態で運用されていたことから、走行中の振動等によりカバー止めピンが外れ、風圧等によりカバーが開いたと推定される。

【対策】

- (1) 当該形式車両（トキ25000形式）の全12両については、原因と対策が確定するまでは、運用を停止することとした。現在、JR貨物と東邦亜鉛、福島臨海鉄道の3社で、運行再開に向けてハード対策及びソフト対策の検討を進めている。
- (2) 当該形式車両以外の私有貨車について、積付具の有無の確認を行い、積付具があるものに関しては、当社で積付検査を実施していることを確認した。また、車扱列車に関わる車両の検査及び積付検査の状況について調査を行っている。

※詳しい交渉内容につきましては、各地区本部に送信してあります議事録を参照願います。

組合・この事象は、他の人から見れば、貨物会社が起こした事故となり、万が一、人命が関わっていれば、これまで築き上げてきたものが一瞬で消え、JR貨物の存続も危うくなる事態であった。グループ会社を含め、一度総点検を実施し、今後決してこのような事象が起きないように、再発防止に取り組んで頂きたい。会社・真摯に受け止め、再発防止に取り組んでいく。

以 上
